

中2

数学

きほん

こたえ

名前 _____

連立方程式の利用

_____ 月 _____ 日

れい

りんご x 個とみかん y 個で10個、代金1040円 $\rightarrow x + y = 10, 120x + 80y = 1040$
… 個数と代金の2つの関係。

1 連立方程式をつくって解く

次の問題を、連立方程式をつくって解きなさい。

- (1) 1個 360 円のケーキと、1個 190 円のプリンを合わせて 10 個買うと、代金の合計は 2750 円でした。ケーキを x 個、プリンを y 個買ったとして連立方程式をつくり、それぞれ何個買ったかを求めなさい。

$$x + y = 10, 360x + 190y = 2750 \quad x = 5, y = 5 \quad \text{答え ケーキ 5 個、プリン 5 個}$$

- (2) ある博物館の入館料は、大人 3 人と中学生 1 人で 3050 円、大人 1 人と中学生 1 人で 1450 円です。大人1人の入館料を x 円、中学生1人入館料を y 円として連立方程式をつくり、それぞれの入館料を求めなさい。

$$3x + y = 3050, x + y = 1450 \quad x = 800, y = 650 \quad \text{答え 大人 800 円、中学生 650 円}$$

- (3) 2けたの自然数があります。十の位の数と一の位の数之和は 6 です。また、十の位の数と一の位の数を入れかえてできる数は、もとの数より 36 大きくなります。もとの数の十の位数を x 、一の位数を y として連立方程式をつくり、もとの自然数を求めなさい。

$$x + y = 6, 10y + x = 10x + y + 36 \quad x = 1, y = 5 \quad \text{答え 15}$$

- (4) 10 円玉と 50 円玉が合わせて 12 枚あり、金額の合計は 360 円です。10 円玉を x 枚、50 円玉を y 枚として連立方程式をつくり、それぞれの枚数を求めなさい。

$$x + y = 12, 10x + 50y = 360 \quad x = 6, y = 6 \quad \text{答え 10 円玉 6 枚、50 円玉 6 枚}$$

できた

/ 4問

